

### ホームページのご案内

当社のホームページでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、当社の事業活動や動向を紹介しております。  
当社をよりご理解いただくためにも、是非アクセスして下さい。



IR情報は…

<http://www.funai-zc.co.jp/ir/index.html>

100年後もあなたのベストパートナー

 株式会社 船井財産コンサルタンツ™



100年後もあなたのベストパートナー

 株式会社 船井財産コンサルタンツ™



株式会社 船井財産コンサルタンツ



## 株主通信 Vol.11

第18期 中間事業報告  
2008年1月1日～2008年6月30日

Consulting for Individuals  
Consulting for Companies  
Land and Real Estate

# 完全個別対応コンサルティングで、 100年後もあなたのベストパートナー

## ごあいさつ

立秋の候、益々ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

株主の皆様におかれましては、当社に厚い信頼をお寄せいただき、当社株式を保有いただいていることをここに謹んで御礼申し上げます。

現在、我が国の経済は、緩やかな回復基調で推移しているものの、引き続き原油高による原材料費の高騰やサブプライム問題に端を発した金融不安の影響を残しております。また、当社グループの事業領域において重要なウエイトを占める不動産マーケットにおきましても、金融機関の不動産業者向け融資審査基準が厳格化し、マーケット全般の先行き見通しは大変困難な状況になっております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、社内教育の充実を図り、コンサルタントの育成および質的向上に努めてまいりました。積極的にセミナーを開催し、財産コンサルティング事業に関連した書籍の出版を行うなど、当社基幹事業であるコンサルティング部門の顧客開拓と業績向上に注力いたしました。その結果、法人財産コンサルティングにおいては、創業以来最高額となる大型案件が成約するなど順調に推移し、個人財産コンサルティングにおいても同様に力強い成長を遂げることが出来ました。これもひとえに皆様からの温かいご厚情の賜物であり、改めて厚く御礼申し上げます。

また、お客様の大切な資産の組替商品として定着してまいりました不動産特定事業法に基づく「不動産共同所有システム (ADVANTAGE CLUB®)」では、3月に「目黒駅前」、6月に「五反田」の物件を組成し、不動産共同所有システムの預り資産総額を約228.3億円まで積み上げることができました。

国内上場企業約4,000社の中でも唯一のビジネスモデルであり、また、国内最大級の「資産家向け総合財産コンサルティング会社」であることを誇りに業務を遂行し、「資産保全」と「100年財産コンサルティング」を基本に、高い行動規範に基づく経営を実践してまいります。また、当社は、本年10月1日付で、経営、財務、会計、人事などのコンサルティングサービスを提供する株式会社プロジェクトホールディングスと経営統合し、新任代表取締役といたしまして、株式会社プロジェクトホールディングス代表取締役社長 蓮見正純を内定いたしました。当社は、今回の経営統合を契機に法人向けコンサルティングをさらに強化、我が国を代表する総合財産・財務コンサルティング会社として邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **平林 良仁**

## ■新任代表取締役社長(内定)のご紹介



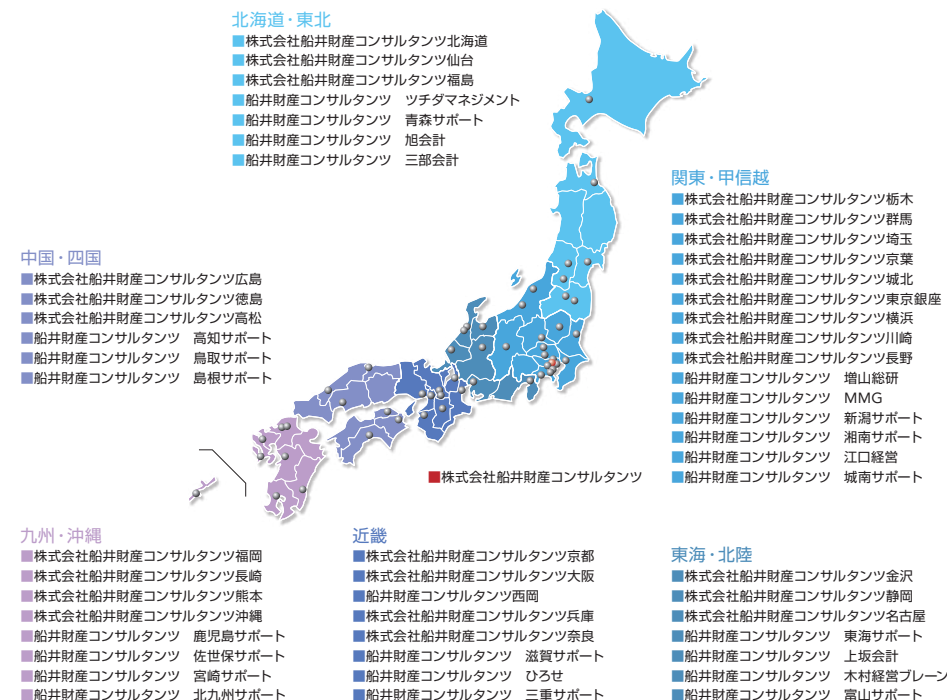
**蓮見 正純** (1956年12月7日生)

### ◆略歴◆

- 1983年 8月 青山監査法人入所
- 1986年 3月 公認会計士登録
- 1991年11月 山田&パートナーズ会計事務所(現 税理士法人山田&パートナーズ)入所、三優監査法人入所
- 1996年12月 株式会社プロジェクト(現 株式会社プロジェクトホールディングス)設立 代表取締役(現任)

## ■全国ネットワーク

【2008年6月現在 52拠点】



## Contents

ごあいさつ	1
第18期 中間期の業績	3
事業紹介	5
クローズアップ: 船井不動産共同所有システム ADVANTAGE CLUB®	7
トピックス	9
中間連結財務諸表(要旨)	11
株式情報・会社情報	13



当中間連結会計期間における我が国経済は、サブプライム問題を引き金とした米国の景気減速懸念による急激なドル安・円高や原油価格の高騰により、国内景気にも不透明感が強まっております。

また、当社グループの事業領域において重要なウエイトを占める不動産マーケットにおきましても、2007年9月30日施行の金融商品取引法や改正建築基準法及びサブプライムローン問題などの影響により、金融機関の不動産業者向け融資基準が厳格化し、マーケット全般の先行きは大変困難な状況となっております。

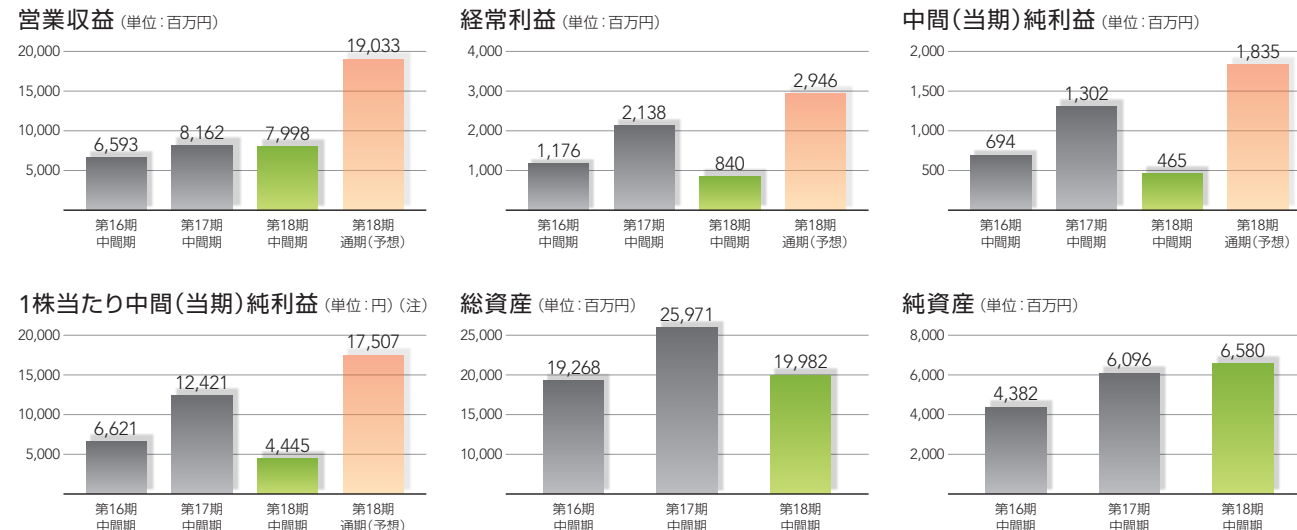
このような環境のなか、当社グループ（当社、連結子会社6社及び持分法適用関連会社4社）におきましては、社内教育の充実を図り、コンサルタントの育成及び質的向上に努めてまいりました。また積極的なセミナーの開催を展開し、財産コンサルティン

グ事業に関連した書籍の出版を行うなど、新規顧客の開拓に注力してまいりました。その結果、財産コンサルティングにおいては、年度開始直後から当社創業以来最高のコンサルティングフィーとなる大型案件が成約するなど順調に推移しております。

その他、不動産共同所有システムでは目黒駅前と五反田の2組合を新たに組成、またそれ以外にも都心部における不動産物件の売却を手掛けたものの、不動産市況全般の停滞感から、不動産取引部門では収益、利益面ともに当初計画を下回りました。

これらの結果、当中間連結会計期間における営業収益は7,998百万円（前中間連結会計期間比2.0%減）、営業利益は1,223百万円（同比49.2%減）、経常利益は840百万円（同比60.7%減）、中間純利益は465百万円（同比64.2%減）となりました。

■ 連結業績ハイライト



(注) 下記のとおり、株式分割を行っております。  
 第16期 2006年11月1日付株式1株につき2株、第17期 2007年10月1日付株式1株につき2株  
 上記、1株当たり中間(当期)純利益は、2008年6月30日時点の株式数で計算しております。

■ 収益区分別営業収益

	2007年12月期(第17期)中間期		2008年12月期(第18期)中間期		増加率(%)	2008年12月期(第18期)業績予想(百万円)	進捗率(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)			
財産コンサルティング収益	1,395	17.1	2,001	25.0	43.5	3,096	64.7
不動産取引収益	6,079	74.5	5,273	65.9	△13.3	14,429	36.5
サブリース収益	551	6.7	580	7.3	5.3	1,117	52.0
その他収益	135	1.7	142	1.8	4.8	389	36.5
合計	8,162	100.0	7,998	100.0	△2.0	19,033	42.0

通期業績予想

当中間連結会計期間においては減収・減益となりましたが、下半期での挽回は十分可能であることから、通期業績予想につきましては、期初計画通りといたします。

通期連結業績の見通しといたしまして、2008年12月期の営業収益は19,033百万円（前連結会計年度比6.4%増）、営業利益は3,380百万円（同11.5%増）、経常利益は2,946百万円（同13.9%増）、当期純利益は1,835百万円（同18.9%増）、1株当たり当期純利益は17,507.21円となる見込みであります。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績などは、業況の変化などにより、上記予想数値と異なる場合があります。

Point ポイント

複数の良質コンサルティング案件の完成もあり、財産コンサルティング部門は、好調に推移しております。

● 新規顧客の開拓にむけた取り組み

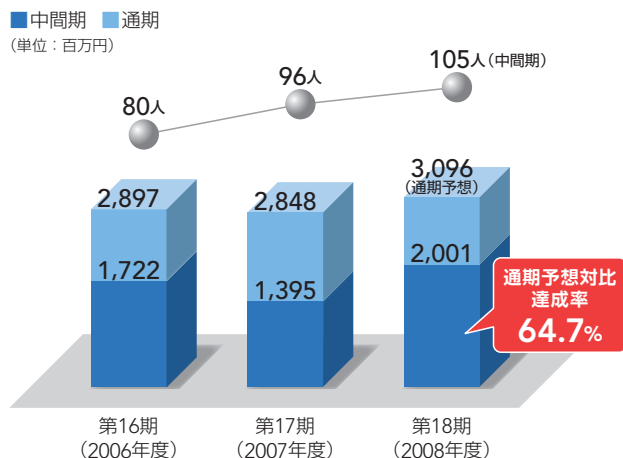
不安定な不動産市況の中においてもクライアントに対して、適切なアドバイスや指導を行ってまいりました。

積極的なセミナーの開催

社内教育の充実

財産コンサルティングに関連した書籍の出版

財産コンサルティング収益と当社コンサルタント数の推移



## 個人財産コンサルティング



日本の個人資産家には、日本型の対応が必要であり、永年にわたる日々の接触の中から、「顧客第一主義」の提案が生まれました。私たちは日本最大級の財産コンサルティング会社として全国組織でお客様の多様なニーズにお応えします。

## 100年財産コンサルティング

当社では、全国の個人資産家に対して、2代・3代先を視野に入れた「100年財産コンサルティング」を提案しています。資産家最大のテーマである相続を軸として、「不動産」「有価証券」「預金・保険」の「資産3分割」の原点に立ち、【不動産】【保険】【運用】の分野にわたり、お客様の立場に徹した最適なアドバイスを提供しています。

### 船井財産コンサルタンツの強み

**不動産** **保険** **現金** **有価証券**

日本の資産家に対して、申告書をベースに商品を持たず、アドバイスに特化できる圧倒的優位性

顧客第一主義（総合財産相談）& 完全個別対応資産家コンサルティング

**アドバイス**  
（総合提案）

**お客様**

## 10(イチマル)コンサルティング

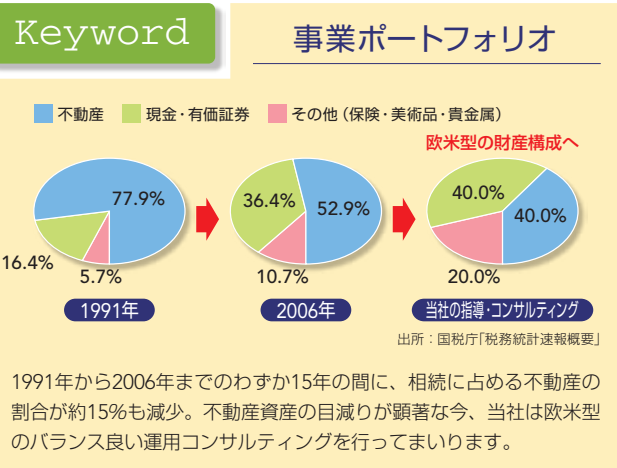
「10(イチマル)コンサルティング」とは、お客様の課税資産に対して10%の収入確保を目標とするものです。現金収入を増やし、《土地を手放さずに相続税を延納により納税》《収入増で財産の分割を容易に》《相続対策の選択肢を増やす》などのメリットをお客様に提供していくことを全社目標として推進しています。

$$\frac{\text{年間収入総額}}{\text{課税総資産額}^{\ast}} = 10\%$$

(※債務控除前)

### 具体的な提案例

- ・不動産の有効活用
- ・地元の好立地不動産への買い換えや購入
- ・事業用資産の買い換え→船井不動産共同所有システムの利用



## 業種別コンサルティング

土地持ち資産家の場合、「テニスコート経営」や「ゴルフ練習場経営」などの業種別のコンサルティングが必要になるケースが出てきます。当社は、さまざまな業種に対するコンサルティングを行っており、その内容は従来の単一コンサルティングでは及ばない水準に達しています。承継に関するコンサルティングは、社会貢献という意義も担っています。

## 収益不動産購入コンサルティング

昨今の混沌とした不動産市場の環境下、適切な収益不動産購入は、きわめて難しくなりました。当社は独自の評価システムを導入し、お客様の適正価格での収益不動産購入のお手伝いをさせていただくべく、新メニューを追加いたしました。

## 法人財産コンサルティング



企業再生コンサルティングの先駆者として毎年50社を超えるプロジェクトに携わってきた経験とノウハウで企業再生を実現します。また、事業承継に不可欠となってきたM&Aにも注力。スポンサーを選定し、スピーディで確実なM&Aを実現いたします。

## 企業再生コンサルティング

数多くの企業再生の実績に加え、多方面からの要請に応えるべく、企業再生コンサルタント（ターンアラウンド・マネージャー）の質・量ともアップを図ってまいりました。当社は、企業の多様なニーズにお応えし、「企業」と「日本」の再生をサポートいたします。

## M&Aコンサルティング

当社は我が国トップレベルのM&Aサービスを提供、オーナー様の希望を優先したM&Aコンサルティングには定評があります。「グループ再編の一環」「後継者難のオーナー企業」等々、広く我が国中小企業のサポートのため、友好的M&Aをキーワードに我が国の経済発展に貢献してまいります。

戦略策定・アプローチ・対象企業選定・対象企業資料提出

秘密保持契約締結

基本交渉・現地調査・概算価格及び条件交渉

基本合意書締結

最終交渉・買収監査・価格及び条件交渉

買収契約書締結

## Keyword

## 事業承継

当社の考える事業承継は、金融や財務だけの問題ではなく、「企業文化の承継」であり、それを柱とした長期の経営計画を考えることを最重要視しています。企業文化を次世代に承継すべく、当社は長年培ってきたコンサルティングノウハウを背景に、企業の長所を客観的な視点で見つけ出し、その長所をさらに伸ばすという姿勢で取り組んでいます。

### 株式会社うかい



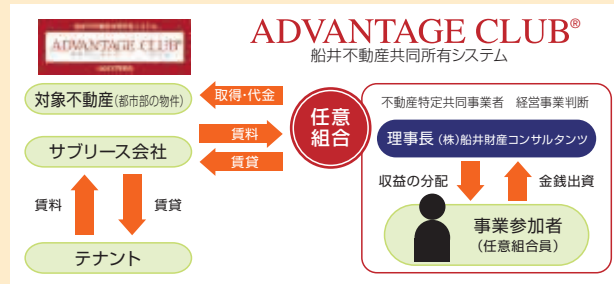
(写真：表参道うかい亭)

当社と株式会社うかいは、顧客第一主義の姿勢や社会貢献の意識など、経営理念の類似によって互いに信任を得られたことに由縁し、高級感と上品さを併せ持つオリジナリティの高い印象的な店づくりは、多くの富裕層のお客様からのご支持を受け、確固たる「うかいブランド」を確立しております。

当社は、財産コンサルティング事業の一環として、お客様の資産運用ニーズへの対応を図る目的から、不動産特定共同事業法に基づく不動産共同所有システムを「ADVANTAGE CLUB®」として開発・販売をしております。これまで手掛けてまいりました「ADVANTAGE CLUB®」は、2008年6月に組成完了した「ADVANTAGE CLUB® 五反田」にて累計17組合、組成金額累計約228.3億円となりました。今後とも良質案件厳選の姿勢で取り組んでまいります。

## Q 「ADVANTAGE CLUB®」とは？

昨今の不動産は二極化しており、地価の下落に反して、都心の一部の地域では値上がりに転じている場所も存在します。そうした地域は非常に限られた場所で、人気も高く当然価格も高額なため、一般の方々にとって購入が非常に難しいのが現状です。そこで、当社が資産家の方々にご提供させていただいているのが、「船井不動産共同所有システム ADVANTAGE CLUB®」です。これは、不動産特定共同事業法に基づく不動産共有商品で、不動産運用商品を検討中の方や、安定収入の確保を望む方々が任意組合を通じ、共同で都心の一等地に不動産を所有するシステムです。



## Q 「ADVANTAGE CLUB®」のメリットを教えてください。

当社が厳選した物件に共同で出資いただくことで、出資主の皆様は、10百万円単位で任意で出資金額を決めることができます。管理や空室などの諸問題は、理事長である当社が解決に努めるため、出資主の皆様が不動産問題でお悩みになられることは、現物不動産をご所有されるより大幅に抑止できます。また、本システムは不動産投資信託証券と異なり、不動産税制が適用されるため、現在不動産を所有されていらっしゃる方には、価格下落リスクが低い都心の買換用不動産として、大変好評をいただいております。

これまでの組成例	京橋 2002年6月 出資総額6.0億円 実質利回5.0%	荻窪 2002年6月 出資総額7.2億円 実質利回5.5%	新宿 2003年2月 出資総額13.0億円 実質利回6.0%	新宿御苑 2003年4月 出資総額6.0億円 実質利回6.4%	六本木 2003年8月 出資総額2.4億円 実質利回5.3%	日本橋 2003年9月 出資総額8.8億円 実質利回5.1%
六本木三丁目 2004年7月 出資総額19億円 実質利回5.1%	銀座・赤坂 2004年10月 出資総額13.5億円 実質利回5.1%	代々木上原 2005年3月 出資総額4億円 実質利回4.3%	西新宿一丁目 2005年6月 出資総額3.2億円 実質利回5.1%	日本橋小伝馬町 2005年9月 出資総額18.5億円 実質利回5.0%	東京四谷・京都五条 2006年3月 出資総額19.2億円 実質利回5.0%	
千代田 2006年7月 出資総額12億円 実質利回4.18%	銀座・巣鴨 2007年3月 出資総額24億円 実質利回4.12%	新橋 2007年11月 出資総額28.5億円 実質利回4.02%	目黒 2008年3月 出資総額18億円 実質利回4.4%			

**NEW**

### 「ADVANTAGE CLUB®五反田」好評のうちに、組成完了

2008年6月に募集をいたしました「ADVANTAGE CLUB® 五反田」は今回250口の募集に対して、これを大幅に超えるお申込をいただきました結果、抽選を実施し販売をさせていただきました。

出資総額25億円  
実質利回4.18%



## 船井 不動産ネットコンサルティング

～信頼できる不動産取引の場を提供いたします～

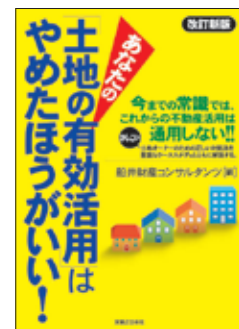


当社が運営してまいりました「船井不動産ネットオークション」サイトを「船井 不動産ネットコンサルティング」にリニューアルオープンいたしました。全国52箇所の税理士・会計事務所を母体としたエリアカンパニー、エリアパートナーに寄せられる独自の不動産情報を扱っております。財産コンサルティング会社ならではの「相続対策」や、「財産運用」などのノウハウを持つコンサルタントが、主に不動産を中心とした財産に関するあらゆるニーズにお応えします。

<http://www.funai-fudosan.com>

## 新書籍のご紹介

あなたの「土地の有効活用」は  
やめたほうがいい!



昨今の不動産市場では、ますます「勝ち組」と「負け組」が鮮明になってきました。人口減少、高齢化が急速に進む日本において、一部の極めて優良な立地条件以外での土地活用は非常に難しくなっております。本書では、土地オーナーのための正しい土地活用法を豊富なケーススタディとともに解説いたします。

今のままでは  
あなたの土地は資産でなくなる!



地価が下落する状況下において、土地持ち資産家はいかにして資産を守ればよいのでしょうか。少しでも早く動くことが、成功への秘訣です。相続・土地有効活用・不動産の組み合わせを中心に、分かりやすい成功の法則と豊富な成功事例の中から、その一部をご紹介します。

## 社会貢献活動について

社会・環境貢献活動を企業の重要な社会的責任と認識し、積極的に取り組んでおります。「社会から尊敬される会社」を創り、「お客様・株主の皆様そして社員の幸せ」を追求する会社として、豊かな社会と環境の実現に努めてまいります。

### 寄付推奨NPO

資産家の方々に対して、寄付に関する情報の提供を行うとともに、相続税額の10%を目安に社会・国際貢献活動団体へ寄付・参加していただくことで、資産家ご自身の意思に基づき『明るく夢のある社会』の実現を目指すNPO法人です。



### 家訓のすすめ

混沌とした現代社会で、私たちは何を信じれば良いのでしょうか。時代がどのように変化しても決して変わらないもの、それは『幸せであれ』と願う親の心です。私達は親の想いを『家訓』で後世に残し、資産同様、考えの承継もお手伝いさせていただいております。



### 富士山を世界遺産に

日本人の心の象徴であり、日本のランドマークである富士山を世界遺産にする国民運動に各界の代表が中心となって参画し、本件を通じ国民の環境やモラルの意識改革を図るNPOであり、当社も賛同させていただいております。



富士山を  
世界遺産に  
Mission Mt. Fuji - The Road to the World Heritage

中間連結貸借対照表

科目	期別	
	前中間期 2007年6月30日現在	当中間期 2008年6月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	20,909	14,458
現金及び預金	5,338	6,640
売掛金	542	524
販売用不動産	10,824	6,279
買取債権	3,815	748
その他	394	270
貸倒引当金	△4	△4
固定資産	5,061	5,523
有形固定資産	227	218
建物及び構築物	114	102
その他	112	115
無形固定資産	37	36
投資その他の資産	4,796	5,269
投資有価証券	1,013	1,099
関係会社株式	3,624	3,943
その他	158	226
<b>資産合計</b>	<b>25,971</b>	<b>19,982</b>

科目	期別	
	前中間期 2007年6月30日現在	当中間期 2008年6月30日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,580	8,439
買掛金	93	91
短期借入金	2,408	2,600
1年以内返済予定の長期借入金	168	3,510
1年以内償還予定の社債	1,140	1,060
未払法人税等	1,024	466
その他	747	711
固定負債	14,293	4,961
社債	3,475	3,215
長期借入金	3,510	—
匿名組合等出資預り金	6,294	759
退職給付引当金	28	36
役員退職慰労引当金	152	185
預り敷金・保証金	784	765
その他	48	—
<b>負債合計</b>	<b>19,874</b>	<b>13,401</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	5,773	6,324
資本金	805	805
資本剰余金	875	875
利益剰余金	4,092	4,643
評価・換算差額等	265	209
少数株主持分	57	47
<b>純資産合計</b>	<b>6,096</b>	<b>6,580</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>25,971</b>	<b>19,982</b>

中間連結損益計算書

科目	期別	
	前中間期 2007年1月1日から 2007年6月30日まで	当中間期 2008年1月1日から 2008年6月30日まで
営業収益	8,162	7,998
営業原価	4,684	5,741
営業総利益	3,477	2,256
販売費及び一般管理費	1,067	1,033
営業利益	2,409	1,223
営業外収益	8	31
営業外費用	279	414
経常利益	2,138	840
特別利益	—	—
特別損失	19	5
匿名組合等損益分配前税金等調整前中間純利益	2,119	835
匿名組合等損益分配額	△118	△116
税金等調整前中間純利益	2,237	952
法人税、住民税及び事業税	1,012	456
法人税等調整額	△79	37
少数株主利益	2	△7
<b>中間純利益</b>	<b>1,302</b>	<b>465</b>

中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	
	前中間期 2007年1月1日から 2007年6月30日まで	当中間期 2008年1月1日から 2008年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,954	2,777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113	△3,147
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,140	△42
現金及び現金同等物の増加額	72	△412
現金及び現金同等物の期首残高	4,463	5,895
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,536	5,482

中間連結株主資本等変動計算書

2008年1月1日から2008年6月30日まで	株主資本				評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2007年12月31日 残高	805	875	4,255	5,936	267	267	55	6,259
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△78	△78	—	—	—	△78
中間純利益	—	—	465	465	—	—	—	465
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	△58	△58	△7	△66
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	387	387	△58	△58	△7	321
2008年6月30日 残高	805	875	4,643	6,324	209	209	47	6,580

株式の状況 (2008年6月30日現在)

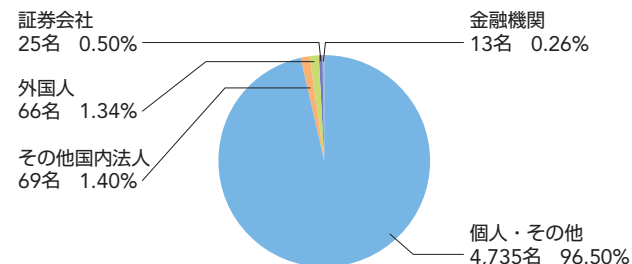
発行可能株式総数	288,000株
発行済株式総数	104,824株
株主数	4,908名

(注)2007年10月1日付で、株式1株につき2株の株式分割を行っております。

大株主 (上位10名)

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
太平商事株式会社	10,560	10.07
ジェーピーモルガンチェース オープンハイマー ファンズ ジャスデック アカウント	10,000	9.53
株式会社船井総合研究所	9,132	8.71
ピービーエイチ マシューズ アジアティック ファンド	7,081	6.75
平林 良仁	2,824	2.69
シービー ロンドン スコティッシュ エクイタブル	2,752	2.62
ジャパン エクセムプト スコティッシュ エクイタブル ピーエルシー	2,409	2.29
ピービーエイチ マシューズ ジャパン ファンド	2,230	2.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,672	1.59
ベイリーギフォード シンニッポン ピーエルシー	1,410	1.34

所有者別分布状況

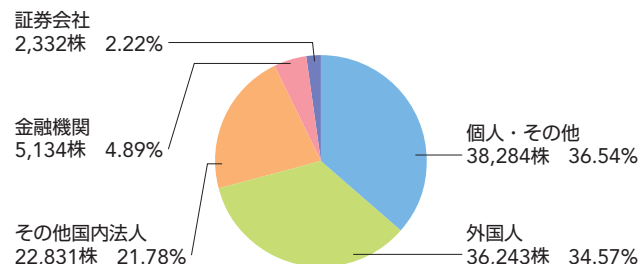


株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告掲載方法	当社ホームページにおける電子公告

※貸借対照表および損益計算書に係る情報は、  
<http://www.funai-zc.co.jp/ir/houtei.html>  
においてご提供致しております。

所有株式数別分布状況



会社概要 (2008年6月30日現在)

商号	株式会社船井財産コンサルタンツ
本社	〒163-0818 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号 新宿NSビル18階
設立	1991年9月17日
資本金	8億581万円
事業内容	個人財産コンサルティング、法人財産コンサルティング、 財産運用コンサルティング
従業員数	738名(グループ)
全国拠点 52ヶ所	札幌・青森・仙台・山形・郡山・水戸・栃木・群馬・埼玉 熊谷・千葉・城北・銀座・城南・川崎・横浜・小田原・新潟 金沢・富山・福井・松本・高山・静岡・名古屋・三重・滋賀 京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・島根・広島・徳島 高松・高知・福岡・北九州・長崎・佐世保・熊本・宮崎 鹿児島・沖縄
連結子会社	株式会社船井エステート 日本不動産格付株式会社 など6社
持分法適用 関連会社	日本インベスターズ証券株式会社 株式会社うかい など4社

役員 (2008年6月30日現在)

代表取締役社長	平林 良仁
代表取締役副社長	村上 秀夫
常務取締役	中塚 久雄
常務取締役	牧野 孝彦
取締役執行役員第二事業部長	秋山 哲男
取締役執行役員第三事業部長	野田 誠規
取締役執行役員第一事業部長	八木 優幸
取締役執行役員第四事業部長	松浦 健
取締役執行役員第五事業部長	佐藤 安彦
社外取締役	島田 晴雄
社外取締役	大野 潔
社外監査役(常勤)	喜多村 隆男
監査役	山村 武彦
社外監査役	山岸 洋
社外監査役	本田 俊雄